

県政かわら版

発行/鹿兒島県PR・観光戦略部広報課
 〒890-8577 鹿兒島市鴨池新町10-1
 ☎ 099(286)2095
 FAX 099(286)2119

県政かわら版は、県内全世帯配布の県政広報紙です。

県政かわら版は点字版・録音版も発行しています。

ご希望の方は鹿兒島県身体障害者福祉協会 ☎099(228)6271 までご連絡ください。

今月号の県政かわら版およびバックナンバー(音声版も含む)は、県ホームページでご覧いただけます。

県政かわら版

検索

- 1~2面 災害に備えて 今できること
- 3面 子育てのお悩みは「子ども家庭・110番」にお電話ください / 高齢者の皆さんの豊富な経験と知識を地域の活性化に生かしてみませんか?
- 4面 情報ボックス/特産品プレゼント



垂水市桜島火山爆発総合防災訓練(平成29年1月12日)

災害に備えて 今できること



近年、東日本大震災や熊本地震など、これまで私たちが経験したことのないような大規模な災害が発生しています。

災害はいつ、どこで発生するかわかりません。

もしもの時、自分や家族の身を守るためには、一人ひとりが日ごろから災害に備えて準備しておくことが大切です。

自分や家族でできる日ごろからの備え

非常持出品を用意しよう

大規模災害時に備えて、最低3日分(できれば1週間分)の食料・飲料水や携帯ラジオ、懐中電灯などの非常持出品を用意しておきましょう。



危険箇所を知ろう

災害時には、思いがけない場所が危険箇所となり得るため、日ごろから地域のことを確認しておきましょう。



家族で話し合おう

災害時の役割分担、避難場所、連絡方法などを事前に話し合っておきましょう。



家族の防災会議

早めの避難を心がけよう

雨風が強くなる前、暗くなる前に、地域の人たちと協力し、早めの避難を心がけましょう。



迅速かつ安全な避難を

自主防災組織に参加しよう

自分たちの地域は自分たちで守るという活動に積極的に参加、協力するようにしましょう。



地域で協力

訓練や研修に参加しよう

地域や県、市町村が行う訓練・研修に積極的に参加して、防災に関する知識を習得するようにしましょう。



日ごろから訓練を

地域や自主防災組織での備え

防災マップを作ろう

地域の防災マップを作成して、災害時の地域の弱点を知り、避難の際に活用しましょう。



連絡網を作ろう

災害時に支援が必要な人にも、災害に関する情報が確実に伝達できる体制を作りましょう。



避難体制を作ろう

隣近所の住民への声かけなど地域ぐるみの避難体制を作りましょう。



訓練や研修を行おう

地域住民が参加する防災訓練や研修を積極的に行い、防災意識の高揚と知識の習得・共有を図りましょう。



災害時の活動

災害応急対策を行おう

隣近所の人など地域の人が協力して、初期消火や救助などの応急対策を行いましょう。



みんなで協力

協力して避難しよう

高齢者や子ども、障害者、疾病者など災害時の避難に支援が必要な人を地域の人たちで支え合って、避難しましょう。



地域で支え合い